



年(平成13年)5月25日(金曜日) 10 2001年(平成13年)5月25日(金曜日)

農業・繊維

# 途上国に市場開放を

UNIDO  
事務局長 技術移転にも期待



マガリニョス氏

途上国の工業化を支援する  
国連工業開発機関(UN

IDO)のマガリニョス事務局長は二十四日都内で日本経済新聞記者と会い、「先進国は途上国に対して農業、繊維分野の市場開放を「すべきだ」と強調した。特に米州自由貿易地域(FTA)構想や日本とメキシコ、シンガポールの自由貿易協定構想に関連して、「途上国が得意とする商品の市場を開放しなければ、自由貿易圏は失敗する」と断言した。

事務局長は欧州連合(EU)が後発途上国を対象に

コメ、バナナ、砂糖の輸入関税を二〇〇九年までに撤廃すると決めたことを高く評価。市場開放で途上国の成長を支援しなければ、「いずれ途上国から先進国に流入する移民の増大という問題が起ころ」と述べた。

UNIDOは途上国への技術移転を重要課題に位置付けており、事務局長は政府機関による研修などより、民間企業の投資拡大の方が効率的に技術移転ができる」と指摘した。

日本の自動車、電機産業の途上国への投資拡大に期待を表明、「長期的には企業の利益につながる」と語った。

UNIDOからは非効率性などを理由に米国が一九九六年に脱退したが、事務局長は人員削減などの改革を進めたことを挙げ、「米国はブッシュ政権に代わっており、復帰を期待している」と述べた。

---

NIKKEI SHINBUN

25 May, 2001

(Summary)

**Opening markets to Developing Countries –agriculture, textile  
UNIDO Director-General: expectation for technology transfer**

Mr. Magariños, Director-General of UNIDO stated that “Developed countries should open their markets to developing countries in the fields of agriculture and textiles.

The Director-General pointed out that UNIDO considers the transfer of technology to developing countries as crucial and the promotion of private investment an efficient means of transferring technology.

He expected an increased investment in developing countries by Japanese industry, observing that, “It will be profitable for the industry in a long run”.

(not an official translation)